

貯法	室温保存
----	------

	S	M	L	LL	XL
承認指令 書番号	元動薬 第610号	元動薬 第611号	元動薬 第612号	元動薬 第613号	元動薬 第614号
販売開始	2018年1月				2020年2月

動物用医薬品 犬用 ノミ・マダニ駆除剤



クレデリオ®錠 (ロチラネル)

クレデリオ®錠は **食事と一緒に** 又は **食後 30 分以内** に与えてください。

クレデリオ®錠は嗜好性の高いビーフフレーバータイプの錠剤で、1 回の投与で 1 ヶ月間、犬に寄生したノミ及びマダニの駆除効果が持続します。

【成分及び分量】

本剤は 1 錠中に以下に示す分量のロチラネルを含有する。

	ロチラネル含量
クレデリオ®錠 S	56.25mg
クレデリオ®錠 M	112.5mg
クレデリオ®錠 L	225mg
クレデリオ®錠 LL	450mg
クレデリオ®錠 XL	900mg

【効能又は効果】

犬：ノミ及びマダニの駆除、イヌニキビダニの駆除による全身性毛包虫症の改善

【用法及び用量】

体重 1kg あたり 20mg のロチラネルを基準量とし、下表に従い、食事と同時に又は食後 30 分以内に経口投与する。

	体重	投与量 (個)
S	1.5kg 以上 2.5kg 以下	1
M	2.5kg を超え 5.5kg 以下	1
L	5.5kg を超え 11.0kg 以下	1
LL	11.0kg を超え 22.0kg 以下	1
XL	22.0kg を超え 45.0kg 以下	1
45kg を越える犬：上記の錠剤を適切に組み合わせる		

【使用上の注意】

(基本的事項)

1. 守らなければならないこと

(一般的注意)

- 本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
- 本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- 本剤は獣医師の指導の下で使用すること。

(取扱い上の注意)

- 小児の手の届かないところに保管すること。
- 本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。

2. 使用に際して気を付けること

(使用者に対する注意)

- 誤って薬剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。
- 使用後は手を洗うこと。

(犬に関する注意)

- 副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

(専門的事項)

① 対象動物の使用制限

- 本剤は 8 週齢未満の子犬又は 1.5kg 未満の犬には投与しないこと。
- 妊娠中又は授乳中の犬に対する本剤の安全性は確認されていないため、使用を避けること。
- 本剤の有効成分又は添加剤に過敏症の犬には使用しないこと。本剤には添加物としてフレーバー(豚肝臓由来)などを含む。

② 重要な基本的注意

- 本剤投与の 30 分以内に嘔吐して本剤を完全に排出した場合は、本剤を再投与すること。
- イソオキサゾリン系薬剤の投与後、けいれん、運動失調及び振戦を含む神経症状が認められることがある。
- イソオキサゾリン系薬剤投与時の注意として、てんかん発作の病歴のある犬に投与する場合は、投与の是非を慎重に判断すること。

クレデリオ®錠 S

クレデリオ®錠 M

クレデリオ®錠 L

クレデリオ®錠 LL

クレデリオ®錠 XL

- イヌニキビダニについては、月 1 回の投与を、生存ダニが検出されなくなるまで継続すること。この場合、投与 1 ヶ月後から 1 ヶ月間隔で皮膚掻爬検査を行い、2 ヶ月連続で生存ダニが検出されなくなるまで投与することが望ましい。
- 毛包虫症はイヌニキビダニによる皮膚疾患であるが、他にも複数の要因が関係する疾病のため、可能であれば、いかなる基礎疾患も適切に治療することが望ましい。

③ 副作用

- 本剤の投与により、嘔吐、下痢、元気消失、食欲不振等が認められることがある。

④ その他の注意

- 本剤は、ノミ及びマダニに対し 1 ヶ月間駆除効果が持続することが確認されているので、継続投与が必要な場合は、これらの寄生虫の駆除効果が持続する期間を考慮して行うこと。
- 本剤は既に寄生しているノミを 6 時間以内に駆除し、投与後 1 ヶ月間、新たに犬に寄生したノミに対して 4 時間以内に駆除効果を発現する。
- 本剤は既に寄生しているマダニに対して 8 時間以内に駆除効果を発現し、投与後 1 ヶ月間、新たに犬に寄生したマダニを 48 時間以内に駆除する。
- 本剤は、犬に寄生したノミ及びマダニを駆除する動物用医薬品であり、これらの寄生虫が媒介する疾病の伝播を阻止できるかについての検討は行っていない。

【薬理学的情報等】

(薬効薬理)

ロチラネルは、動物用医薬品においてノミ及びマダニの駆除剤として使用されているイソオキサゾリン系に分類される。作用機序はフェニルピラゾール系殺虫剤などと同様に、神経伝達物質である γ -アミノ酪酸 (GABA) の GABA-Cl 受容体に特異的に結合して、塩素イオンのチャネルの流れを阻止することで塩素イオンの細胞膜伝達を阻害することにより、昆虫の中枢神経系の制御を不能にするという作用機序を有する。また、ロチラネルは昆虫の GABA 受容体に作用するが、哺乳類の GABA 受容体にはほとんど作用しないという高い選択毒性をもつ。このことから、哺乳類に対しては大きな作用を有せず、殺虫効果を示す。

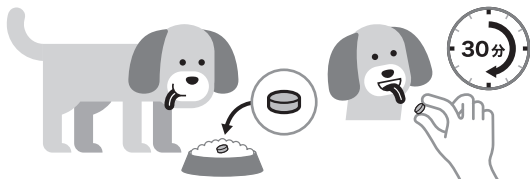
(安全性)

1. イヌにおける安全性試験

対象動物である犬に対する安全性試験として、ビーグル幼犬 32 頭に対し 8 ヶ月間にわたり、1 ヶ月に 1 回の反復経口投与における評価を実施した。臨床適用最大量 (43mg/kg) の、1、3 および 5 倍量を投与したが、投与した時の忍容性は良好であった。被験動物 (犬) の全般的な健康状態に基づき、無毒性量 (NOAEL) はロチラネルとして 215mg/kg 以上であった。

2. 国内臨床試験

国内臨床試験において、本剤投与の全ての症例 (48 例) で投与に起因すると考えられる異常はなんら認められなかった。



投与は **食事と一緒に** 又は **食後 30 分以内** に。

【製品情報お問い合わせ先】

エランコジャパン株式会社 製品お問い合わせ窓口
〒107-0052 東京都港区赤坂四丁目 15 番 1 号
TEL：0120-162-419

月～金／9 時～12 時、13 時～17 時
(祝祭日及び弊社休業日を除く)

製造販売元 (輸入販売元)

エランコジャパン株式会社

〒107-0052
東京都港区赤坂四丁目 15 番 1 号

クレデリオ、Elanco 及び  : エランコ又はその関連会社の商標です。
© 2023 Elanco or its affiliates



獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発症に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。